



ハチの巣を作ろう

ひかりのこつうしん

No.3

「プロジェクトアプローチ」とは



やきそば屋さん

ひかりの子幼稚園

2023年6月30日

クラス懇談会は多くの保護者の方に来ていただき、クラスの様子をお伝えすることができ、有意義な時間を過ごさせて頂きました。その中でクラスの子どもの自主的な活動もご紹介しましたが、ひかりの子幼稚園が取り組んでいる「プロジェクトアプローチ」について、お伝えしたいと思います。

ある具体的な取り組みの例です。「えんにち」という絵本を読みました。「アッ！これ見たことある」「えんにち行ったことある」「お面買ったことある」「うわあ！おもしろそうやな・・・」「こんなお店行ってみたいなあ」という気持ちが湧いてきます。この時に子どものワクワク・興味・関心が生まれ、これを担任がキャッチします。「じゃ自分たちでもやってみるのはどう？」「やりたい！」「やってみよう！」と話が進んでいきます。この「興味、関心」を出発点とし、自分たちで考え、計画し、組み立てていく保育。これを「プロジェクトアプローチ(プロジェクト保育)」と言います。



絵本

クラスで一つのテーマに限定しなくてもよく、2～3人だけのプロジェクトでもいいのです。誰かが黙々と熱中していることに対して、周りの友達が「おもしろそう」と感じて加わっていったとき、それがより大きなプロジェクトになっていくのです。



収穫したぞ！小松菜！

「プロジェクトアプローチ」は「今からこれ作りますよ」「この見本通りに描いてね」という担任主導型ではなく、正解のない問に対してを「どうすればいいか」を一緒に考え、相談し、折り合いをつけながら、みんなが納得のいく方法を導いていくスタイルです。担任は子ども達の興味・関心を広げていけるよう、環境作りや問いかけを進めていきます。

子ども同士の話し合いは簡単には進まないこともあり、相当の時間と集中力を要することもあります。話し合いの中で自分の意見が通らないもどかしさを感じたり、反対に自分の意見をみんなが真剣に聞いてくれて「それいいね！」とうなずいてくれた時のうれしさなど、その過程で様々な思いを経験します。

やりたいことが決まると、必要な材料を集めたり、おうちの人をお願いしたり、時にはお手紙を書いたり、何をどんなふうにするかを話し合い、実行に移していきます。そして苦労の末、完成した時の喜びや達成感、何物にも代え難い経験になります。プロジェクトアプローチはこの過程こそが大切だと考えます。このような各クラスでの活動は「ジャム作り」「小松菜食べくらべ」「夏祭り」「梅シロップ作り」「お化け屋敷計画」「はちの巣を作ろう」などなど・・・「クラスだより」でもその様子をお伝えしていきます。

梅雨明けが待ち遠しいです季節ですね。皆様お一人おひとりの健康をお祈りしています。

園長 松本直子



びわジャム作り「いい匂い！」



かき氷屋さんごっこ



お化け屋敷計画：段ボールカッターで穴あけ



こんぺいとう入り梅シロップ